

担当 農業ビジネス支援課 総務・企画担当
内線 4123

目的

関東地方で初となる世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」や日本農業遺産「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」など、本県独自の伝統的農法の維持・継承を図り、地域住民の誇りや地域農産物の付加価値向上を目指します。

事業概要

寄附募集事業

1 農業遺産推進事業 8,683千円

(1) 農業遺産推進事業 6,683千円

世界農業遺産・日本農業遺産に認定された地域の協議会が行う活動等を支援し、円滑な事業実施を推進する。

- ・世界農業遺産協議会の海外PR支援費など

(2) 農業遺産認定等支援事業 2,000千円

世界農業遺産・日本農業遺産に認定された地域の協議会が行う伝統的農法を維持・保全する取組への支援や、普及啓発及び認知度向上等に係る活動を支援する。

(支援対象となる活動の例)

- ア 武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会
 - ・世界農業遺産の維持・保全活動（落ち葉掃きボランティア制度）
 - ・PR活動（落ち葉掃きイベント、農産物販売イベント）
 - ・普及・啓発（小学校等への出前講座、国内外の視察受入）など
- イ 比企丘陵農業遺産推進協議会
 - ・日本農業遺産のPR活動（谷津沼内イベント）
 - ・普及・啓発（記念講演会の開催、大学等と連携した講演会）など

世界農業遺産(武蔵野地域)



落ち葉掃き

日本農業遺産(比企地域)



認定地域の「谷津田」